

「3・4・11号線に関するオープンハウス」における意見交換の場（第1回）

（記録 阿部 達）

日時：2020年2月22日 11時～12時

会場：宮地楽器ホール 1階

（都）新型ウィルスが流行っているのので、マスクをつけています。聞き取りにくいところがあると思います。皆様のご意見を。

（市民）ここで出された意見は、これからの3・4・11号線の在り方に生かせるのか。

（都）必要性についてはすでに決まっていることなので、環境について意見を聞かせていただければと。

（市民）意見交換は、記録として残すのですか。

（都）残さない。アンケートに記入されたものをお知らせします。

（市民）道路が出来た時に、13000台の交通量があると予測してあるが、これから車減っていくのに。こういう説明会を開くなら、データを。もう一つ、自然環境について、ここは市民の憩いの場、みなさんご覧になったことがあるのか。これから残していかなければならないところ。どう考えているのか。いままで調査していなかったの。

（都）小金井街道については、・・・、東大通りは4100台、将来ネットワークで13000台です。

（都）すべてつながった状態で13000台

（都）自然環境について、現地を確認していきまして、今回展示したのは、道路に関係した部分で。調査してみないとわからないので、調査してみたいと。

（都）同自然環境と調和しながらやっていくかということで、調査を来年度からやる。

（市民）環境と道路の両立はできない。名古屋では都市計画道路やめている。里山を守りたいということで、一旦作ってしまうと。

国分寺崖線のエリアとして見てもらわないと。

もう一点、この計画の決定がなされているか疑問。建設大臣の1773号によって決定しているということになっているが、これは建設省の決裁文書だが、大臣の決裁がない、局長だけなんです。この分厚い決裁文書の中に大臣が決裁したことを示す文書がない。東京都は東知事が、決裁してくださいという文書と小金井市がお願いしますという文書は残っている。ここから先の文書がない。審議かの前に決定したというちぐはぐがある。告示が正式な決定に基づくものであることを証明してもらいたい。このとき、参議院選挙があった。大臣の改造が行われて、建設省内はたいへんな作業があって、小金井の決裁に大臣がハンコを押すような状態でなかったと考えられる事態だった。決定したことを示す文書を出してください。文書はあるはずですから。大臣は行政庁のトップですから、大臣のハンコがなければ決定でない、建設省として決めたというなら大臣のはんこがいる。局長ではだめ。政務次官なら代理として可能だが。建設省に紹介してもらって。外環道は大臣も政務

次官も決裁している。小平もない。ほかにもある。

東京都の手落ちでないが。

(都) 私たちは、建設大臣が酷似しているので、決定されたと推認している。

(市民) 疑いでてるから調べるしかない。

(都) 認識論としては言った通り。

(市民) 責任もって答えられる人を読んでもください。

(都) 我々は認識としては、決定したということ・

(市民) 官報の告示はあったと、これは確認できていると。

(都) ハイハイ

(市民) 大臣の決定書はあったんですか、なかったんですか。

(都) 大臣の決定書は確認できていない

(市民) なかったんですか。

(都) 文書があったかなかったかということについては、なかったということに。

(市民) 都でなく、国がごまかしている。だから、法律に違反せず、正規に決定していると証明できる人をよんできてくださいと言っているんです。説明の場を作って。

(市民) 大臣しか決定できない。行政庁の長として。

(市民) 昨年 12 月に小金井市長が、市民の理解が十分に進んでいないということで事業化しないようにと要望書を都に出していますが、これに対してどう答えているのか

(都) 市長が了解しないもとでは進めないでというのは、都の問題ではないので。市長の基本的スタンスとしては、3・4・11号線に関しては都市計画マスタープランを尊重し、整備を推進してほしいと。ここに小金井市の方もオブザーバーとして同席しているので、違っていればお伺いしたい。

現時点では了解しないと、オープンハウスについては賛同していると。

(市民) 市民の理解が進んでいないのはなぜかということを知りましたか。地方自治体の確認をされましたか。

(都) 確認はしていない。要望書を受けて、……。皆さんとうまくいかないということは何でかと……。

(小金井市) これまでの会を受けまして、西岡市長も意見交換会が成立していないので、同じ形ではなた同じことの繰り返しになるので、違う形だと要望した。

(市民) 市長は来ないんですか。来るよう強く要望してください。

(市民) 市の都市整備部長なり課長が同席してください

(市民) 戦後、日本は民主主義国になった。市民主権の大原則が忘れられている。計画づくりの段階で、50年前に市民の知らないなかで、畑の中に線を引いてつくられた。これには新憲法が反映されていない。計画段階から市民が参加していない基本的問題がある。日本が参加していないがオーストラリア条約がある。これには計画段階から市民が参加しなければならないとある。安倍内閣のもとにSDGsがあるが、ここに同じ原則がある。国際的な

基準は守るべき。20日の新聞に気候温暖化で超党派の懇談会を作っている。環境の重要さを認識してほしい。

小池知事を説得していただいて。

(市民) 60年前の計画。道路のネットワークといているが、こんなにいっぱい人が住み始めている。人を大事にすることをやってもらいたい。歩行者が巻き込まれる事故が増えている、歩行者を大事にしてほしい。そのためには住民の意見を聞いていくことを。そもそも道路が必要かということ。温暖化がすすんでいる。木を切っていくことは温暖化を進めることにもなる。

(都) 連雀通りから抜け道に車がいって、道路ができれば

(市民) 異議あり、ここに住んでますが、道路が出来たら、小学生が横断することになる。今の細い道路は確かに問題です。でも、大きな道路を作る理由にしないでください。

(市民) ここに車を入れさせない、歩行者を優先させるそういう施策を取ってください。

(市民) こういう大きな道路ができると重大事故、死亡事故が増えることが西東京でもでている。ここの市民団体が調査してるが、信号をまもって大きな道路を横断する人や自転車が信号をまもらないでスピード出して走る車にはねられている。ここも狭い道路から大きな道路につながれば危険。

(市民) 3回の意見交換会を踏まえて、今日おこなわれた。期待していたんですよ。失望した。。交通量13000台という話がでた。今2つの走路合わせて27000台が新しい道路作って33000台になるのか。人も減るし、車も減るのに。これまで3回の議論が反映されていない。橋梁で自然が守れるということに強い疑問、騒音、排気ガス、振動、動物、植物の電波ができない。橋梁でやるんならどうやって自然環境を守るのか、これからの場で踏み込んでほしい。